

竹取物語新聞

第 114 号 2015 年 9 月号
発行：NPO 法人森林ボランティア
竹 取 物 語 の 会

9月3日和歌山県橋本市との団体交流

橋本ひだまり倶楽部との団体交流会に出席する為、穂谷三之宮神社駐車場に 8 時半集合、総勢 8 名 2 台の車にて、和歌山県橋本市北馬場・橋本運動公園に向け出発した。交流先様の概略は平成 12 年 4 月設立、郷土の森保全 森林ボランティア団体、市民参加による 郷土の森づくりと循環型里山を目指す。倶楽部は「橋本市運動公園内の 7 ヘクタール森林と学習体験棟を受託管理」、会員 70 余名、幹事 6 名で、ミッションは『里山保全活動、里山資源の活用、

自然体験……一般市民・青少年の自然環境教育の支援、希少種を守る活動』となっている。活動地を実見させて頂き、その後、当該地の“学習体験棟”にて、各自持参の弁当を摂りながら活動状況（自然体験学習を小学生に森の中で）、課題（実働会員の高齢化）等々の問答交流を凡そ 2 時間程行い散会した。帰り道、紀の川沿いのファーマーズマーケット“やっちょん広場”に立ち寄り、地産品を散見して帰途についた。
(吉田善彦)

テントのなかはいつも体験者で満席

9 月 23 日(祝水)ひらかた NPO フェスタ 2015 に参加。今年もテントブースで 8 名の会員が間伐材のクラフトを指導。ヒサカキの木端の上に、ナンキン・メロンの種、ドングリをのせてブローチやキーホルダー作りを楽しみました。午前中は子どもたちが沢山体験しました。自分で考えた作品は早速リュックにつけていました。午

後は来場者が少なくなりましたが、出展団体の人たちがクラフト作りに遠慮がちに参加しながら、だんだん夢中になっておられました。午前 10 時から終了時間までクラフト指導の間に、穂谷での保全活動や里山の自然を紹介、10 月から始まる「里山保全講座」の案内も行いました。
(市山二郎)

橋本ひだまり倶楽部訪問 活動地見学や意見交換